

広報委員会 (第23期第7回) 議事要旨

1. 日 時 平成29年1月20日(金) 10:00～12:00
2. 場 所 日本学術会議 6階 6-C 会議室(2)
3. 出席者 小松 久男委員長、那須 民江副委員長、山川 充夫幹事、
向井 千秋委員、渡辺 芳人委員、笠原 忠委員、沼野 充義委員、
萩原 一郎委員
日本学術会議事務局：笹川係長、信澤職員
参考人：谷口日本学術協力財団常務理事、末次同職員、
大竹暁編集委員会副委員長、石田寛人同委員、
島蘭進同委員、狩野光伸同委員

【配布資料】

- 資料1 出席者一覧
- 資料2 広報委員会(第6回) 議事要旨(案)
- 資料3 編集委員会(第3回) 議事録(案)
- 資料4 『学術の動向』原稿のチェック体制
- 資料5 『学術の動向』執筆依頼文
- 資料6 『学術の動向』執筆依頼時送付文書(平成29年1月20日現在)
- 資料7 『学術の動向』平成29年2月号以降の特集等掲載記事一覧
- 資料8 『学術の動向』特集記事企画案等の提出状況について
- 資料9 幹事会承認シンポジウム等(第238～239回幹事会)
- 資料10 第23期会員執筆状況

- 参考1 日経アジアレビュー掲載記事
(「学術の動向」平成28年11月号依田照彦先生の記事の英訳版)

机上配布資料

1. 熊本地震 追悼・復興記念行事/日本学術会議公開シンポジウム 第三
回防災学術連携シンポジウム 熊本地震・一周年報告会(案)
2. 嶋田先生より 編集委員会の企画案資料
3. 日本学術協力財団からの報告

議 事

- (1) 前回議事要旨案の確認
特段の修正意見がでなかったため、標記議事要旨を確定することとした。

(2) 『学術の動向』の編集について（編集協力）

※ 編集委員会の議事の詳細については、同委員会事務局として財団が事務処理を行うため省略するが、次のような点について審議された。

- ① 「学術の動向」原稿のチェック体制（資料4）が確認された。原稿執筆者各位への「執筆にあたってのお願い」（資料5）、「執筆依頼文」（資料6）については、「加筆・修正の上」で承認された。
- ② 編集委員会に提出された「特集記事企画案」3件の審議が行われた。2件については承認されたが、1件については執筆者を追加すべきとの意見が出されたため、企画提案者に伝えることとなった。掲載希望の企画案1件については、変更を含めた内容が承認され、後日企画案が提出されることとなった。また、新たに4件の企画テーマの提案があり、関係者との調整を進めることとなった。
- ③ 平成29年10月号特集1を除く、平成29年7月から10月までの特集記事が決定した。編集後記の担当については、特に希望がない号は機械的に担当を割り振ることに決定した。
- ④ 谷口日本学術協力財団常務理事から、賛助会員の加入状況、「科学と社会研究会」発足について報告があった。研究会の活動を「学術の動向」の特集記事とすることについては、掲載手順などを次回以降再検討することとなった。

(3) 今期の広報活動について

- ・沼野委員から、「学術の動向」という雑誌タイトルを検討すべきとの提案、渡辺（芳）委員からも、サブタイトルを付けるなどの工夫が欲しいとの意見があった。
- ・渡辺（芳）委員から、シンポジウムのネット動画配信を検討してみてもどうかという提案があった。登壇者への許諾や、動画の編集に関する技術的、金銭的負担など課題は多いが、宣伝効果は大きいと期待できる。

(4) その他

- ・本年秋の会員改選を考慮すると、今期の広報委員会の活動期間内で「学術の動向」平成30年3月号までの特集記事を決定する必要がある。そのため、4月と8月の計2回の広報委員会および編集委員会を予定したい。開催日程についてはメールで調整する。

以上